

学校教育計画（令和2年度～令和5年度）

（1）学校のミッション

全日制専門学科の高校として、産業の動向等に適切に対応し、生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現に応えるため、学年制によるカリキュラム・マネジメントに学校全体で取り組み、学力の育成、豊かな人間性や社会性を培い、社会的・職業的に自立することをめざした学校づくりに取り組む。

教育課程については、工業、商業に関する専門教科・科目を中心に、専門性の向上を図る教育に重点を置いて、実際の・体験的学習を重視して産業界等との連携により一層深めるとともに、共通教科・科目の適切な設置に基づいて編成を行う。

これまで、「ものづくりとビジネス」をコンセプトにした商と工の連携を強化し、加速度的に変化する社会に対応できる人材の育成に向け、自ら課題を発見し解決する力を育み、主体的に学ぶ意欲を高めることをめざした不断の授業改善を行う等、教育活動の充実に取り組む。

（2）学校教育目標

- | | |
|----------------|-----------------|
| ① 自立した職業人の育成 | ② 将来のスペシャリストの育成 |
| ③ 地域産業を担う人材の育成 | ④ 人間性豊かな職業人の育成 |

（3）計画作成時点での課題

・商業と工業の連携のあり方について
 連携を強化することで、お互いの強みを学び、職業人としての視野を広げ、懐の深さを身に付ける。2科を併設する本校でしかない試みであり、本校の大きな特色である。しかし、それぞれの科の学びが浅くなつては本末転倒となる。バランスを保ちつつ連携による成果を追求するため、連携の方法について更に検討を重ねたい。

（4）4年間の目標と主な方策

	視点	4年間の目標	目標達成に向けた主な方策
①	教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> 専門性を追究した教育活動を充実させる。 商業と工業の連携による特色ある教育活動を実践する。 学力及び技術技能の基礎力を確実に定着させる。 学習指導方法の改善を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> 各科の専門性を深める授業の工夫と実践を行うとともに、学科を超えた連携を実践する。 資格試験や検定試験の高度資格の取得や、競技会や発表大会への積極的な参加を促す。 組織的な授業改善に取り組み、授業の工夫・改善を進め、生徒の基礎学力の定着を図る。
②	(幼児・児童・) 生徒指導・ 支援	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣の確立を図る。 社会人基礎力と豊かな人間性を育む。 主体性を育み自立した人間の育成を図る。 教育相談体制の充実を図る。 学校行事等や部活動の活性化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣、規律やマナーの遵守の育成と向上を図る。 教育相談等の研修を積極的に進め、生徒の悩みをいち早く認識できる教育相談体制を強化する。 体育祭や文化祭などの学校行事の運営や、生徒会及び各委員会の活動を生徒主体で行えるような支援体制を構築する。 各部の活動の広報等を行い、部活動への加入率を増加させるような方策を企画し、実施する。
③	進路指導・ 支援	<ul style="list-style-type: none"> 実際の・体験的学習の機会拡大と充実を図る。 勤労観や公共心、社会奉仕の精神を涵養する。 進路相談体制の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> キャリア教育実践プログラムの推進及び充実を図る。 企業や施設等における体験活動やボランティア活動への参加機会を増やす。 生徒の主体的な活動への支援を通して基礎的・汎用的能力と自分の進路を自分で描き、実現しようとする力を育成する。
④	地域等との 協働	<ul style="list-style-type: none"> 学校運営協議会制度を活用した、地域との協働を図る。 コンソーシアムを積極的に活用する。 広報活動を充実させ情報の発信を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域と連携した防災訓練や行事運営の補助など地域貢献活動の活性化を図る。 コンソーシアムを活用し教育活動を推進する。 ホームページの充実を図り、情報発信を促進させる。
⑤	学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ミッションに沿った学校経営の推進を追求する。 安全安心な学習環境を維持構築する。 教育公務員としての規範意識を醸成するとともに、風通しの良い職場環境を構築する。 働き方改革の視点に立ち長時間労働の解消に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> PDC Aサイクルを実践する。 常に生徒の学習環境を最大限確保することを目指す。 日々事故防止の啓発に努め、研修を通じて職員の規範意識の醸成を図る。 働きやすい職場環境を構築し、スクラップアンドビルドを促進させる。